

## 環境モデル都市提案書（様式1）

タイトル	<b>昭和30年代前半のCO2 排出量で、平成20年以上に快適に暮らせるまちを目指して 松戸市減CO2（ゲンコツ）大作戦 始動！</b>																
提案団体	千葉県 松戸市	人口：478,030人 *20年3月1日現在															
担当者名及び連絡先	担当者の所属 市民環境本部環境担当部環境計画課 減CO2 担当室 氏名 槇島直樹 TEL 047-366-7089 FAX 047-366-8114 メール mckangenco2@city.matsudo.chiba.jp																
<b>1 全体構想</b>																	
1-1 環境モデル都市としての位置づけ																	
<p>松戸市は、東京都に江戸川をはさんで隣接する、ベットタウンの色彩が強いまちです。緑花清流を目指したまちづくりを、もったいない運動を軸に進めております。温暖化対策には、「松戸市環境計画」に基づき、幾つかの個別計画を整備して積極的に取り組んでおりますが、さらに、平成20年度には、松戸市地球温暖化対策地域推進計画を「松戸市減CO2 大作戦」として策定し、それを強化します。市民活動団体や企業とのネットワーク作りも進んでおり、平成20年度には「協働のまちづくり条例」に基づき、市民団体との「地球にやさしい行動宣言推進協働事業」が始まりました。</p>																	
1-2 現状分析																	
1-2-① 温室効果ガスの排出実態等	省エネルギービジョン策定時のエネルギー消費量調査に基づく概算（2004年度） ○総排出量 2,412,990 トン／年 <table style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">産業</td> <td style="padding-right: 20px;">979,244</td> <td>40.6%</td> </tr> <tr> <td>運輸</td> <td>473,711</td> <td>19.6%</td> </tr> <tr> <td>業務</td> <td>335,720</td> <td>13.9%</td> </tr> <tr> <td>家庭</td> <td>593,833</td> <td>24.6%</td> </tr> <tr> <td>非エネルギー</td> <td>30,482</td> <td>1.3%</td> </tr> </table> <p style="margin-left: 20px;">*非エネルギーは、廃棄物、下水処理、し尿処理に限定</p> <p style="margin-left: 20px;">ベットタウンの特徴で、家庭部門の排出割合が多いので、自家用車の使用を含めた「家庭部門」への働きかけにより、温室効果ガス削減の大きな成果をあげられる地域です。</p>		産業	979,244	40.6%	運輸	473,711	19.6%	業務	335,720	13.9%	家庭	593,833	24.6%	非エネルギー	30,482	1.3%
産業	979,244	40.6%															
運輸	473,711	19.6%															
業務	335,720	13.9%															
家庭	593,833	24.6%															
非エネルギー	30,482	1.3%															
1-2-② 関係する既存の行政計画の評価	計画の名称及び策定時期	評価															
	松戸市総合計画 H10.4.1	第4節 安全で快適な生活環境の実現 の中で、環境にやさしいライフスタイルの推進、自然エネルギー活用などを掲げています。															
	松戸市環境計画 H10.4.1	総合計画と個別計画を結ぶ中間的な計画で、目指すまちの姿の一つに「地球の環境にやさしいまち」を掲げています。															
	松戸市都市計画マスタープラン H11.6.1	温暖化問題を課題として捉え、将来像の基本方針にコンパクトシティ、交流を支える環境にやさしい交通体系を整えた街を掲げています。															
	松戸市地域新エネルギービジョン H15.3.1	太陽光発電、クリーンエネルギー自動車普及等を主要事業として、目標を持って実施中です。															
	松戸市地域省エネルギービジョン H18.2.1	松戸市全体の省エネルギーを推進するためのビジョンです。市民のエネルギー消費については10%の削減目標を掲げています。															
	松戸市役所地球温暖化防止実行計画 H16.4.1	市役所の全事務事業対象のCO2削減計画で、エネルギー起源CO2は、平成14年度比で平成18年度8.8%削減成功の実績を上げています。															
	松戸市緑の基本計画 H20 見直し	樹木によるCO2吸収について明記しています。50万本植樹計画もこの計画により進みます。															

1-3削減目標等	
1-3-① 削減目標	<p>平成 20 年度策定の「松戸市地球温暖化対策地域推進計画（＝松戸市減CO2 大作戦）」の中で削減目標を決めます。</p> <p>削減目標は、市全体の排出量について、①排出量ピーク年次の設定（2010 年度） ②2012 年時点での削減目標（2004 年度比で 10%程度削減） ③2030 年時点の削減目標（2004 年度比で 30%程度削減） ④2050 年の削減目標（2004 年度比 70%程度削減＝昭和 30 年代の排出量を目指す）を目安に、策定委員会で協議中です。</p> <p>また、市全体の排出量の他に、家庭部門での世帯あたりの排出量や部門ごとの目標、個別手段についての達成目標も掲げる予定です。</p>
1-3-② 削減目標の達成についての考え方	<p>①排出量ピークの達成（2010 年想定）</p> <p>松戸市地域新エネルギービジョンなど 1-2-②に示した各計画を推進することに加えて、平成 20 年度策定の「松戸市減CO2 大作戦」で、新たな対策を付け加え 2010 年度を目途に達成します。</p> <p>②2012 年度削減目標の達成（2004 年度を基準にすると 10%程度の削減で検討中）</p> <p>松戸市減CO2 大作戦で、即効的な各種削減手段を定め、短期間での減CO2 を達成します。</p> <p>③2030 年削減目標の達成（2004 年度を基準にすると 30%程度の削減で検討中）</p> <p>松戸市減CO2 大作戦で、省エネ住宅推進、再生可能エネルギー普及や交通対策等の中期的な取り組みの基本方針を定め、それに対応した個別計画、新制度等を導入します。その中には、エネルギー供給企業や市内事業者などと連携した松戸発の新しい取り組みも企画します。</p> <p>④2050 年削減目標の達成（2004 年度を基準 70%程度削減＝昭和 30 年代前半の排出量 で検討中）</p> <p>歩いて生活できるまち、太陽光発電などの再生可能エネルギーで生活できるまち、緑豊かなまち、市民、事業者が自発的に、自立して環境行動を実践するまち に向けた様々な長期的な取り組みの基本方針を松戸市減CO2 大作戦で定め、それに対応した個別計画や制度を導入します。</p> <p>昭和 30 年代の温室効果ガス発生量で、かつ、平成 20 年度の快適性を超える生活の実現を目指します。</p>
取組み方針	削減の程度及びその見込みの根拠
<p><b>1. ライフスタイル・ワークスタイルの改革</b></p> <p><b>中長期</b></p> <p>○市民・事業者がライフスタイル・ワークスタイルを改革し、低炭素社会・循環型社会・緑化推進社会構築に自立して取り組んでいるまちになります。</p> <p><b>短期</b></p> <p>○地球に優しい行動宣言の宣言者を増やします。</p> <p>○松戸市版環境家計簿の普及率を高めます。</p> <p>○減CO2 協定事業所を増やします。</p> <p>○減CO2 宣言事業所を増やします。</p> <p>中期削減量合計 242,342 t/年(2004 年度の 10.0%)</p> <p>長期削減量合計 495,341 t/年(2004 年度の 20.5%)</p>	<p><b>1-1. ライフスタイル改革の削減程度</b></p> <p>●中期・長期（2012 年度～2050 年度）</p> <p>温室効果ガス削減量 60,088 t CO2/年</p> <p>* 市民アンケート結果及び家庭でできる省エネの効果より算定</p> <p>* 行動で削減できる部分で算出</p> <p><b>1-2. ワークスタイル改革の削減程度</b></p> <p>●中期（2012 年度）</p> <p>温室効果ガス削減量 182,254 t CO2/年</p> <p>●長期（2050 年度）</p> <p>温室効果ガス削減量 435,253 t CO2/年</p> <p>* 事業所アンケート結果より</p> <p>* 省エネ機器導入などの効果も含まれる</p> <p>短期的取組みの削減程度は、「2 取組み内容」に記載します。以下同様</p>

	<p><b>2. 都市構造の改革</b></p> <p><b>中・長期</b></p> <p>○徒歩や自転車で暮らせる街になります。</p> <p>○省エネルギー構造の建築物が建っているまちになります</p> <p>○供給される電力やガスのクリーン度が高まります</p> <p>○自動車がスムーズに通過できるまちになります</p> <p>○50万本植樹計画、減CO<sub>2</sub> どんぐり作戦などで緑の多いまちになります</p> <p><b>短期</b></p> <p>○中長期的な取組みの基盤を整備します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 駐輪場を整備します。</li> <li>* 省エネ住宅等促進の指針等を策定します。</li> <li>* スムーズな通行が可能な道路整備を進めます。</li> <li>* 歩いて生活できるよう公共交通や歩きやすい道路の整備を進めます。 など</li> </ul> <p>○50万本植樹計画、減CO<sub>2</sub> どんぐり作戦減CO<sub>2</sub> どんぐり作戦を進めます。</p> <p>中期削減量合計 247,818 t/年(2004年度の10.3%)</p> <p>長期削減量合計 685,631 t/年(2004年度の28.4%)</p>	<p><b>2-1. 自動車不使用による削減程度</b></p> <p>●中期 (2030年度)</p> <p>温室効果ガス削減量 22,880 t CO<sub>2</sub>/年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 自家用車台数2割減</li> </ul> <p>●長期 (2050年度)</p> <p>温室効果ガス削減量 114,399 t CO<sub>2</sub>/年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* すべて電気自動車・燃料電池自動車に</li> </ul> <p><b>2-2. 自動車使用頻度減少による削減程度</b></p> <p>●中期 (2030年度)</p> <p>温室効果ガス削減量 27,456 t CO<sub>2</sub>/年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 使用頻度3割減</li> <li>* 長期は2-1に包含</li> </ul> <p><b>2-3 省エネルギー住宅等による削減程度</b></p> <p>●中期 (2030年度)</p> <p>温室効果ガス削減量 14,089 t CO<sub>2</sub>/年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 新築家屋すべてが省エネ住宅に</li> </ul> <p>●長期 (2050年度)</p> <p>温室効果ガス削減量 296,917 t CO<sub>2</sub>/年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* すべての住宅が省エネ住宅に、</li> </ul> <p><b>2-4 電力排出係数の向上による削減効果</b></p> <p>●中期・長期 (2012年度~2050年度)</p> <p>温室効果ガス削減量 64,315 t CO<sub>2</sub>/年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 換算係数0.37が0.30になると仮定</li> </ul> <p><b>2-5 渋滞解消、主要経路距離短縮による自動車燃料の削減</b></p> <p>●中期 (2030年度)</p> <p>温室効果ガス削減量 14,078 t CO<sub>2</sub>/年</p> <p><b>2-6 みどりの改革による削減効果</b></p> <p>●中期 (2030年度)</p> <p>温室効果ガス削減量 105,000 t CO<sub>2</sub>/年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 50万本植樹計画達成</li> </ul> <p>●長期 (2050年度)</p> <p>温室効果ガス削減量 210,000 t CO<sub>2</sub>/年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 100万本植樹達成</li> </ul>
--	--	--

	<p><b>3. エネルギー、資源循環分野での改革</b>  <b>中・長期</b>  ○化石燃料に頼らない再生可能なエネルギー利用型のまちになります（太陽光発電、燃料電池、バイオマス発電、BDF燃料、廃棄物発電など）  ○資源循環型のまちになります。（発生抑制、リユース、リサイクル）</p> <p><b>短期</b>  ○廃食用油BDF化モデル事業実施</p> <p>中期削減量合計 43,641 t/年（2004年度の1.8%）  長期削減量合計 296,712 t/年（2004年度の12.3%）</p>	<p><b>3-1 太陽光発電の普及による削減効果</b>  ●中期（2030年度）  温室効果ガス削減量 39,969 t CO<sub>2</sub>/年  *新築家屋全てに3kWの太陽光発電設置</p> <p>●長期（2050年度）  温室効果ガス削減量 293,040 t CO<sub>2</sub>/年  *全世帯に3kWの太陽光が付く</p> <p><b>3-2 廃食用油BDF化による削減効果</b>  ●中期（2030年度）  温室効果ガス削減量 1,900 t CO<sub>2</sub>/年  *廃食用油を全量回収BDFに</p> <p>●長期（2050年度）  温室効果ガス削減量 1,900 t CO<sub>2</sub>/年  *BDFを自動車以外の燃料で使用と仮定</p> <p><b>3-3 ごみ減量による削減効果</b>  ●中期（2030年度）  温室効果ガス削減量 1,772 t/年削減  *ゴミ処理基本計画目標値</p>
	<p><b>4. 消費資材等の改革</b>  ○家電・自動車などエネルギー消費製品について省エネルギー度、高効率度が極めて高い製品が使用されるまちになります  ○地産地消が進んだまちになります。</p> <p>中期削減量合計 159,854 t/年（2004年度の6.6%）  長期削減量合計 118,235 t/年（2004年度の4.9%）</p>	<p><b>4-1 省エネ家電普及による削減効果</b>  ●中期（2030年度）  温室効果ガス削減量 118,235 t CO<sub>2</sub>/年  *2030年度には全て省エネ基準達成度100%以上の家電品が普及していると設定</p> <p>●長期（2050年度）  温室効果ガス削減量 118,235 t CO<sub>2</sub>/年  *同上</p> <p><b>4-2 自動車の改革による削減効果</b>  ●中期（2030年度）  温室効果ガス削減量 41,619 t CO<sub>2</sub>/年  *自動車の平均燃費25km/lになると仮定</p> <p>●長期（2050年度）  電気自動車、燃料電池自動車に転換されるという見方で2-1に包含</p>
<p>中期取組み削減効果</p>	<p>総計</p>	<p>693,655 t/年  （2004年度比 28.7%削減）</p>
<p>長期取組み削減効果</p>	<p>総計</p>	<p>1,595,919 t/年  （2004年度比 66.1%削減）</p>

<p>1-3-③ フォローアップの方法</p>	<p>●取り組みの進捗管理は、松戸市減CO2大作戦としてPDCAサイクルで実施します。</p> <p>●実績は、個別施策の進捗状況やアンケートによる実施率の把握などのデータから、削減できた量を把握すると同時に、必要に応じては、市全体の温室効果ガス排出量も統計データ等から計算し、把握します。</p> <p><b>もったいない運動推進本部（本部長：市長、部長会議構成員）</b>  ↑ 企画・進捗情報報告      ↓ 改善指示</p> <p><b>もったいない運動環境対策専門部会（部会長：環境担当部長）</b>  ↑ 企画・進捗情報報告      ↓ 改善指示</p> <p><b>減CO2大作戦推進各種プロジェクト（事務局：減CO2 担当室）</b></p>
-----------------------------	---

<p>1-4 地域の活力の創出等</p>	
<p>●お客とお店の双方が得をする省エネ・省資源の取り組みを制度化することにより市内商店の活性化を図ります。  * 地域通貨との連動なども検討します。</p> <p>●BDF装置などの開発による新しい地場産業が創設されます。</p> <p>●バイオガス使用などの新エネルギー導入により企業の活力が増強されます。</p> <p>●エネルギー供給事業者との協働体制の確立により高効率給湯設備等を普及し、市民生活を向上します。</p> <p>●省エネ住宅や太陽光発電の面的整備により地域のステータスが向上します。</p> <p>●ESCO事業導入により企業活力が増強されます。</p> <p>●ISO、エコアクション21 取得により企業ステータス、活力が増強されます。</p> <p>●歩いて暮らせるまち、自転車で暮らせるまち、緑の多いまちになることにより、松戸市が周辺の他市と区別化され、市のステータスが向上します。</p>	

※必ず改ページ

2 取組内容		
2-1 ライフスタイル・ワークスタイルの改革		
2-1-① 取組方針		
<p>自立して温暖化対策に取り組む市民、事業者になっていただくことを取組方針とします。</p> <p>骨格は ①情報戦略 ②システム提供 ③誘導的施策の展開に置きます。</p> <p>また、市民、エネルギー供給事業者との協働体制を強化するとともに、本市独自の、「もったいない運動」の協賛団体 530（世帯 60,000 世帯）、協賛事業所 100 社との連携を強化して推進します。</p>		
2-1-② 5年以内に具体化する予定の取組に関する事項		
取組の内容・場所	主体・時期	削減見込み・フォローアップの方法
<p>(a) 地球にやさしい行動宣言制度の見直し</p> <p>地球温暖化関連市民出前講座等の開催 ↓ 地球にやさしい行動宣言提出 ↓ 登録カード送付、実績報告提出依頼</p>	<p>市が運用し、実施者は市民</p> <p>2008 年度から 市民団体と協働事業で実施</p>	<p>●削減見込み（2012 年度） 30,805 t CO<sub>2</sub>/年 * 行動宣言等の効果で家庭でできる省エネの取組の実施率を 75%に高める。</p> <p>●フォローアップ ①宣言内容の実施状況の実績報告 ②市民アンケート調査 で削減の効果を把握し、必要な改善を図ります。</p>
<p>(b) 減CO<sub>2</sub> 協定事業所制度の実施</p> <p>すでに目標を持って温室効果ガス削減に取り組んでいる事業所対象に、市への成果報告の協定を結び、更なる削減について一緒に取り組みます。</p>	<p>事業者と市が主体</p> <p>2008 年度モデル事業実施</p>	<p>●削減見込み すでに目標を持っているのでその目標の達成状況が削減量になります。</p> <p>●フォローアップ 協定に基づき報告をいただきます。</p>
<p>(c) 減CO<sub>2</sub> 宣言事業所制度の実施</p> <p>まだ、削減目標を持たないが、今後、積極的に取り組む事業所が、そのことを宣言する。市は、ISO14001、アクション 21 などのノウハウを提供。最終的に削減目標をもった事業所になっていただきます。</p>	<p>市が呼びかけ、事業者が実施</p> <p>2008 年度モデル事業実施</p>	<p>●削減見込み（2012 年度） 34,452 t /年削減 * 削減目標を持つ事業所を 30%にする</p> <p>●フォローアップ ①宣言事業所から電力等のデータ提供 ②事業所アンケート実施 で効果を把握し更なる削減の支援をします。</p>
<p>(d) 市民・事業所減CO<sub>2</sub> アイデア実現システム実施</p> <p>広報まつど、市民対象説明会、商工会議所だより等で減CO<sub>2</sub>のアイデアを募集し、効果的な取り組みを具現化します。</p>	<p>主体は市民・事業者</p> <p>2008 年度モデル事業実施</p>	<p>●削減見込みは未定</p>
削減見込み 小計		<p>65,257 t/年 ( 2004 年度比 2.7%削減 )</p>
2-1-③課題		
<p>①市内事業所の内、省エネ法などで削減計画や実績の報告が義務付けられている事業所について、削減状況を市が把握できる仕組みが必要</p> <p>②中小事業所に、目標を持った温暖化の取り組みを実施していただく仕組みが必要</p>		

※必ず改ページ

2-2. 都市構造の改革		
2-2-①. 取組方針		
<p>中・長期的には、全ての建築物の構造を省エネルギー型にすること、自動車がなくても生活できる街にすること、みどり豊かなまちにすることを目指します。そのため、公共交通等の整備や駅前周辺整備、道路整備など総合的なまちづくりの視点で低炭素型まちづくりを実現します。</p> <p>短期の取り組みでは、省エネルギー住宅促進のための制度の確立、徒歩や自転車にやさしいまちづくりに向けた制度面での整備、交通渋滞箇所の解消に取り組みます。</p>		
2-2-②. 5年以内に具体化する予定の取組に関する事項		
取組の内容・場所	主体・時期	削減の見込み・フォローアップの方法
(a) 省エネルギー住宅等促進  新築家屋を省エネルギー仕様にするための、仕組みや制度を整えます。	建築主・設計業者・市  2008年度に検討プロジェクト設置	●削減見込み(2012年度) 783 t/年削減 *新築家屋の30%を省エネ住宅に ●フォローアップ 建築確認又は固定資産評価時に実績を把握し、普及方法等を改善します。
(b) 歩いて生活できるまちづくり  短期では、自家用車削減に重点を置き、徒歩や自転車で駅まで行く、買い物に行く、そのことのメリットを説明することから始めます。  まちづくりのハード面は中期的な取組みになります。	市  2008年度「持続可能なまちづくりプロジェクト」設置	●削減見込み(2012年度) 21,736 t/年削減 *自家用車を10%削減 *走行距離を10%削減 ●フォローアップ 松戸市統計資料による
(c) 50万本植樹計画と減CO2 どんぐり作戦の実施  50万本植樹計画は、宅地開発条例の推進を更に進めます。どんぐり作戦では、どんぐりキッズ隊を編成し、自宅や学校でどんぐりの苗を育てるところから始めます。	市民・事業者・市  2008年度に検討プロジェクト設置	●削減見込み(2012年度) 25,950 t/年削減 *宅地開発条例に基づく植林実績 ●フォローアップ 届出から把握し、実績に応じた改善をします。
削減見込み 小計		48,469 t/年 (2004年度比 2.0%削減)
2-2-③課題		
<p>資金調達が不可欠 省エネルギー住宅の指針などの制定が必要。それには、市の支援体制の確立が付随しないとまらない。</p>		

2-3. エネルギー、資源循環分野での改革		
2-3-①取組方針		
<p>化石燃料に頼らなくても、今以上に快適な暮らしが送れる街になるための基盤の整備をします。</p> <p>軸は、再生可能なエネルギーの普及、バイオ資源の活用です。</p> <p>また、東京電力㈱、京葉ガス㈱といったエネルギー供給事業者と連携を持ち、効率のよい地域エネルギー供給システムなども研究します。</p>		
2-3-②5年以内に具体化する予定の取組に関する事項		
取組の内容・場所	主体・時期	削減の見込み・フォローアップの方法
<p>バイオディーゼルモデル事業</p> <p>BDF製造装置の開発は、松戸テクノプラザが取り組んでいます。</p> <p>家庭の廃食用油を回収するモデル事業を始めました。</p>	<p>松戸テクノプラザ・市</p> <p>2008年度回収モデル事業実施</p>	<p>●削減見込み（2012年度）</p> <p>950 t/年削減</p> <p>* 廃食用油発生量の50%回収</p> <p>●フォローアップ</p> <p>回収量と製造量を計量し実績把握。実績によって取り組み改善</p>
<p>太陽光発電の普及</p> <p>現在、毎年150基程度の設置があります。</p> <p>製造メーカーとの連携、必要によっては、期間を定めての助成事業なども検討します。</p>	<p>市・製造メーカー</p> <p>—</p>	<p>●削減見込み（2012年度）</p> <p>2,503 t/年削減</p> <p>* 2012年度での累積1,879基</p> <p>●フォローアップ</p> <p>* 東京電力からのデータが入手できないので実績把握に新たな仕組みが必要。</p> <p>固定資産評価時の連携体制検討</p>
<p>減CO2 ひまわり大作戦</p> <p>ボランティアや町会などに呼びかけ、休耕田などにひまわりを植えて、収穫し、それを食用油にして、使用したものを回収し、BDFにする事業を展開します。</p>	<p>市民・市</p> <p>2008年度検討プロジェクト設置</p>	<p>●削減見込み</p> <p>未定</p>
削減見込み	小計	<p>3,453 t/年</p> <p>( 2004年度比 0.1%削減 )</p>
2-3-③課題		
<p>太陽光発電の普及には助成制度を検討する必要がある。資金源確保が課題。</p>		



※必ず改ページ

2-4. 消費資材等の改革		
2-4-①取組方針		
<p>省エネ製品、省資源製品などの開発は国、メーカーが進めているので、その中で、優れたものを市民や事業者の皆さんが購入するような仕組みを築いていきます。</p> <p>骨格は ①情報提供 ②販売店との連携 ③地域通貨と連動した誘導策 などに置きます。</p> <p>助成金の交付については、抜本対策の位置づけでなく、緊急対策として実施を検討します。</p>		
2-4-②5年以内に具体化する予定の取組に関する事項		
取組の内容・場所	主体・時期	削減の見込み・フォローアップの方法
<p>省エネ家電説明会の開催</p> <p>環境活動団体と協働で、家電や給湯器、自動車などの賢い買い替え方法の講座を展開します。</p>	市民団体・市	<p>●削減見込み（2012年度）</p> <p>39,412 t /年削減</p> <p>* 家電の1/3が省エネ基準達成率100%を超えるものになる</p> <p>●フォローアップ</p> <p>* 市民アンケート調査、メーカー情報獲得で実績を把握し、必要な改善を実施</p>
<p>省エネ家電購入誘導策の導入</p> <p>家電販売店などと協力体制を強化し、購買者に詳しい情報を提供する、省エネ製品購入時のサービスを充実するなどの誘導策を強力に展開します。</p>	市・販売店	
<p>低燃費・低排出ガス自動車購入誘導策の導入</p> <p>自動車販売店などと協力体制を強化し、購買者に詳しい情報を提供する、低燃費自動車購入時のサービスを充実するなどの誘導策を強力に展開します。</p>	市・販売店	<p>●削減見込み（2012年度）</p> <p>30,807 t /年削減</p> <p>* 自動車の燃費平均が15.5km/ℓから20.0km/ℓに改善</p> <p>●フォローアップ</p> <p>* 市民アンケートで、市内の燃費平均値把握し、必要な改善を実施</p>
削減見込み 小計		70,219 t/年 (2004年度比 2.9%削減)
5年間の取組みの削減見込み 総計		187,398 t/年 (2004年度比 7.8%削減)
2-4-③課題		
<p>省エネ家電推進、低燃費自動車推進の成果を、急激に上げるには、助成金交付などの呼び水が必要。</p> <p>省エネ基準達成できない製品の製造を禁止するなどの手段が取れると、加速度的に効果が上がる。</p>		

3. 平成 20 年度中に行う事業の内容	
取組の内容	主体・時期
<p>減CO2 プロジェクト 11 の設置</p> <p>1. 減CO2 どんぐり作戦プロジェクト</p> <p>2. 減CO2 協定事業所・宣言事業所プロジェクト</p> <p>3. 省エネルギー住宅等推進プロジェクト（太陽光発電普及プロジェクト含む）</p> <p>4. 持続可能なまちづくり推進プロジェクト</p> <p>5. 減CO2 バイオディーゼル普及プロジェクト</p> <p>6. 減CO2 ひまわり循環プロジェクト</p> <p>7. 減CO2 職員意識向上プロジェクト      など 11 のプロジェクト設置</p>	<p>市</p> <p>全て 2008 年度に設置</p>
<p>減CO2 モデル事業の実施</p> <p>1. 減CO2 どんぐり作戦モデル事業    2. 減CO2 協定事業所・宣言事業所モデル事業</p> <p>3. 市民提案実現制度モデル事業</p>	<p>市・市民・事業者</p>
<p>環境フェアの開催</p> <p>市民・企業・大学・市が協働で実施する環境フェアを開催</p>	<p>市・市民・事業者・大 学・商工会議所</p> <p>2009年2月</p>
4. 取組体制等	
<p>行政機関内 の連携体制</p>	<p>もったいない運動推進本部（本部長：市長、部長会議構成員）</p> <p>↑ 企画・進捗情報報告      ↓ 改善指示</p> <p>もったいない運動環境対策専門部会（部会長：環境担当部長）</p> <p>↑ 企画・進捗情報報告      ↓ 改善指示</p> <p>減CO2 大作戦推進各種プロジェクト（事務局：減CO2 担当室）</p>
<p>地域住民等 との連携体 制</p>	<p>●松戸市省エネルギーネットワーク</p> <p>アースコン・マツド、松戸市消費者の会、まつど地球市民かいぎ、東京電力(株)、京葉ガス(株)</p> <p>●もったいない推進運動協賛団体</p> <p>550 団体・100 企業・60,000 世帯</p> <p>●クリンクル協力店</p>
<p>大学、地元企 業等の知的 資源の活用</p>	<p>まつど商工会議所・千葉大園芸学部・流通経済大学・聖徳大学・日大歯学部・東京電力(株)東葛支社・東京電力(株)松戸営業所・京葉ガス(株)などから知的資源の提供を受けています。</p> <p>また、逆に、市では、大学からインターンシップの学生を受け入れています。</p>

※ 5 年以内に具体化する予定の取組については、その実施箇所を一覧できる地図を添付すること

※必要に応じて適宜、行や欄の追加、注記・例示の削除を行ってよいが、様式 1、2 の全体の枚数は 10 枚程度とすること。また、様式に入力する文字は 10.5 ポイント以上とすること。

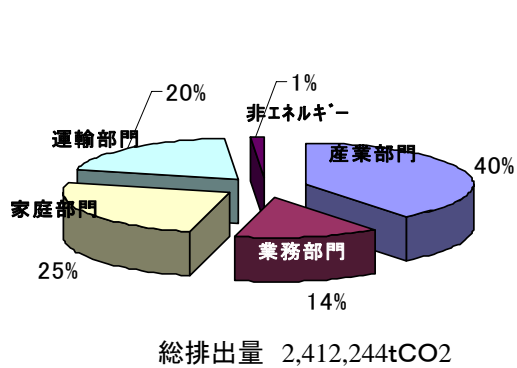
# (市区町村名)環境モデル都市提案書(様式2)

## 1-1 環境モデル都市としての位置づけ

松戸市は、東京都に江戸川をはさんで隣接する、ベッタウンの色彩が強いまちです。緑花清流を目指したまちづくりを、もったいない運動を軸に進めております。温暖化対策には、「松戸市環境計画」に基づき、幾つかの個別計画を整備して積極的に取り組んでおりますが、さらに、平成20年度には、松戸市地球温暖化対策地域推進計画を「松戸市減CO2大作戦」として策定し、それを強化します。市民活動団体や企業とのネットワーク作りも進んでおり、平成20年度には「協働のまちづくり条例」に基づき、市民団体との「地球にやさしい行動宣言推進協働事業」が始まりました。

## 1-2. 現状分析

温室効果ガス排出量(2004年度概算)



ベッタウンの特徴で、家庭部門の排出割合が多く、自家用車の使用を含めて「家庭部門」への働きかけにより、大幅な温室効果ガス削減ができる地域です。



松戸市の温暖化防止のロゴ

## 1-3. 削減目標等

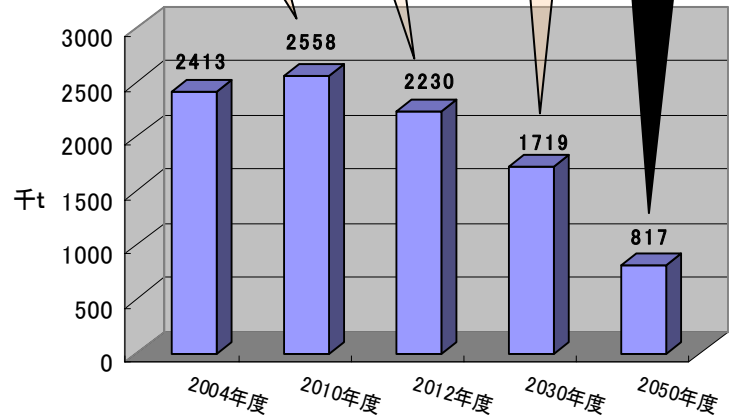
2010年度に排出量がピークになる施策を展開します。

2012年度には2004年度比で10%程度の削減を目指します！

2030年度には2004年度を基順に30%程度の削減をします。

2050年度には、昭和30年代の排出量(2004年度比で70%程度の削減)を目指します！

温室効果ガス排出量 削減目標値



## 1-4. 地域の活力の創出等

### 市内大学

千葉大園芸学部  
聖徳大学  
日大歯学部  
流通経済大学

### もったいない運動協賛団体

550団体  
100企業  
6万世帯

### 松戸市省エネルギーネットワーク

東京電力・京葉ガス・減CO2活動市民団体

### 商工会議所 松戸テクノプラザ

### 環境活動団体

アースコン・マツド  
松戸市消費者の会  
まつど地球市民かいぎ  
その他

### クリンクル協力店

50店舗

**\*すでに、地域の活力の創設の基盤が整っています！**

2050年度の松戸市の姿 ⇒ 昭和30年代の温室効果ガス排出量で、2008年より豊かな生活が送れるまち になります！

## 1. ライフスタイル・ワークスタイルの改革 495,341トﾝ 削減

市民・事業者が自主的に・自立して地球環境の創造に取り組んでいます！

●家庭でできる省エネ・省資源の取組み全ての市民が実施しています！

●減CO<sub>2</sub>協定事業所・減CO<sub>2</sub>宣言事業者が自発的にCO<sub>2</sub>を削減しています！

## 2. 都市構造の改革 685,631トﾝ削減

歩いて暮らせるまちになります

●駅周辺対策・公共交通充実・歩道などの整備⇒自動車の台数が減ります。

●渋滞の解消や道路の整備でスムーズな通行ができ、燃費が向上します！



省エネ仕様の建物が建つまちになります



イラストJCCCA

## 3. エネルギー・資源循環の改革 296,712トﾝ 削減

太陽光発電が普及します  
新築家屋すべてに！



写真JCCCA

バイオ資源の活用が高まります

廃食用油がBDFになります

良質な公共的エネルギーが提供されるまちになります

エネルギー供給企業のバイオガス発電や燃料電池、太陽光発電などの導入で排出係数が下がります

メガ太陽光発電所

家庭・事業所

緑豊かなまちになります



減CO<sub>2</sub>どんぐり作戦・50万本植樹計画・100万本植樹計画で、樹木の本数が大幅に増加します！

豊かな財政基盤の確保ができています

基金・環境目的税・マッチファンド導入・排出権取引など検討

1,595,919トﾝ削減 2004年度比で66.1%削減！

## 4. 消費財等の改革 118,235トﾝ削減

省エネ基準100%以上達成の家電製品や給湯設備が全ての家庭で使われています



全てが電気自動車、燃料電池自動車になります



写真JCCCA